



2/13 新入園児の一日体験入園

松崎幼稚園中川園で、来年度の新入園児の一日体験入園が行われました。

松崎町マスコットキャラクター

「まっちゃん」に決定!

町には、海、山、川の豊かな自然環境や景観、なまこ壁の建物や石部の棚田、漆喰塼絵、全国生産の7割を占める桜葉等、多くの地域資源がありますが、その魅力を全国に発信し、皆様に広く愛されるマスコットキャラクターを作成するため、昨年11月1日(木)から12月28日(金)にかけ、全国公募を行いました。

ら81歳までの285人、353点の応募をいただきました。1月25日(金)に、町長はじめ7人の選考委員による厳正で慎重な審査の結果、最優秀賞(採用作品)に大阪府和泉市のグラフィックデザイナー「まっちゃん」が選ばれました。

マスコットキャラクターには、北は北海道から南は沖縄県まで37都道府県で、7歳か

「元氣な子ども」をモチーフにしたもので、町を宣伝する内容がバランス良くキャラクター

ターの中に含まれ、着ぐるみとしても活用度が高い点が評価されました。

町では、今後多くの皆様に愛され、かわいがられるキャラクターを目指し、広報やホームページ等への登場や着ぐるみ、グッズ等を製作し、イベントや町のPRに活用していくこととしています。

町民の皆様におかれましては、町のキャラクターとしてまっちゃんの魅力を発信くださいますようお願いいたします。

マスコットキャラクター応募一覧

都道府県名	応募者	点数	都道府県名	応募者	点数
北海道	6	9	滋賀県	4	5
青森県	1	1	兵庫県	10	10
岩手県	2	4	奈良県	3	3
山形県	3	4	大阪府	24	27
茨城県	2	3	島根県	2	2
栃木県	4	4	岡山県	2	3
埼玉県	16	18	広島県	5	6
群馬県	6	6	山口県	2	2
千葉県	8	9	香川県	1	1
東京都	38	42	愛媛県	1	1
神奈川県	14	19	高知県	2	3
新潟県	4	7	福岡県	7	10
石川県	2	2	佐賀県	1	1
長野県	2	3	長崎県	4	4
岐阜県	4	7	熊本県	1	1
静岡県	88	114	宮崎県	1	1
愛知県	7	10	鹿児島県	2	2
三重県	2	2	沖縄県	1	1
京都府	3	6	合計	285	353

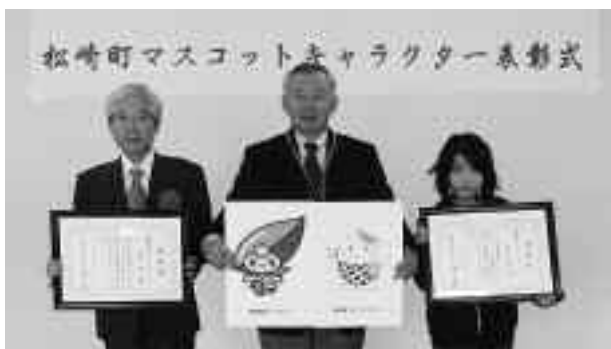


審査の様子

最優秀賞以外の入賞者は、次の通りです。(敬称略)

【優秀賞】石原和貴(神奈川県藤沢市) 指出真紀(静岡県松崎町)

【入賞】高柳順子(静岡県三島市) 関根身依子(神奈川県川崎市) 松岡英男(山形県山形市) 金津 博(新潟県上越市) 谷口志穂(埼玉県鶴ヶ市) 草野敬一(長崎県長崎市) 遠藤ヒサ(群馬県高崎市) 岩倉隆行(鹿児島県霧島市) 【問合せ】企画観光課(42) 3964



最優秀賞の深川さん(左)と優秀賞の指出さん(右)



最優秀賞「まっちゃん」

松崎町農業再生協議会が 静岡県耕作放棄地再生活動優良賞を受賞

農業委員、農業振興会員、

J A、農林事務所、町で構成する松崎町農業再生協議会が、静岡県耕作放棄地再生活動表彰で優良賞を受賞し、2月12日（火）に静岡市で表彰式が行われました。

本表彰は、本年度初めて県で創設されたもので、耕作放棄地の再生活動が、地域の農地利用促進や保全管理に大きな役割を果たしており、他地域での実践の模範として波及効果が期待できる者（団体）を表彰することにより、静岡県における耕作放棄地の再生・利用に資することを目的としています。



表彰式にて
(後段右から5番目・藤井会長)

松崎町および松崎町農業再生協議会の取り組み

①農地貸借等の情報公開

今後増加が見込まれる耕作放棄地と将来農業経営に不安がある耕地を、農地を拡大したい・新しく農業を始めたい手と結びつけるため、貸借および売買の希望がある農地をホームページで公開し、農業委員会窓口で閲覧を行っています。

また、全国農業会議所とも連携し、全国的に情報発信をしています。

ホームページのアクセス数も多く、特に町外からの訪問相談が寄せられ、これまでに約50アールの登録された耕作放棄地が解消されました。

また、耕作放棄地の所有者から、台帳へ登録して、公開してほしいとの依頼もありました。

②乗用草刈機による農地の保全管理

営農再開はもとより、美しい農村景観維持という観点か

ら保全管理を進めるため、県下でいち早く乗用草刈機を導入しました。

導入した乗用草刈り機は、シルバー人材センターに貸与しています。従来の人力作業と比較すると、費用も安く、作業時間も短縮されていることから、草刈りを依頼する方の経済的負担も軽減されています。

これにより、草刈り機導入後の2年間で、約8ヘクタールの農地の保全管理が図られました。

③耕作放棄地再生利用経営展開事業（ハープ実証栽培）

耕作放棄地の解消と合わせ、新たな特産品による農業振興を図るため、ハープの実証農地を再生整備し、加工品の試作や試験販売等に取り組みんでいます。

農業振興会では、レモングラスというハープの6次産業化に取り組み等、活動の広がりも期待されます。

④耕作放棄地緊急対策事業

町では、耕作放棄地を借りて、再生し営農再開までの経費を助成しています。再生作業経費は、ほぼ利用者負担な

しとなります。

これまでに、約70アールの耕作放棄地が解消され、営農が再開されました。

⑤農業後継者対策事業

地域農政の大きな課題は、農業後継者の確保です。

町では、5年以上農業経営を行う満50歳以下の新規就農者に対し、最大84万円の奨励金を交付しています。

また、新規就農者の農作業用機械購入に対し最大30万円の助成金を交付しています。

〈就農応援プロジェクト〉

町では、これらの事業を就農応援プロジェクトとして実施し、農地の確保から経営支援までを行う体制を整えています。この他にも、町では農業振興に関する支援制度を設けています。

農地を拡大したい・新しく農業を始めたい方、農産物を使った商品開発をしたい・販路開拓をしたい方、鳥獣害の防除をしたい方等、就農・営農のご相談は、産業建設課までお願いします。

【問合せ】

産業建設課（42） 3965

静岡県知事顕彰を受賞 —石部赤根田村百笑の里—

石部赤根田村百笑の里は、農山漁村地域のさまざまな地域資源を次世代に引き継ぐための活動に積極的に取り組んでいる地域として登録された県内45の「ふじのくに美しく品格のある邑」の一つとなっています。

今回、登録された邑の中から、先導的かつ象徴的な事例として、活発で発展的な活動に取り組む、6邑の一つに石部赤根田村百笑の里が選定され、2月4日（月）の顕彰式典において、静岡県知事より顕彰を受けました。



顕彰を受ける高橋会長

【問合せ】

企画観光課（42） 3964

生涯学習だより 社会教育事業報告

松崎町の社会教育は、「学習の生涯化」「学習の地域化」を基本理念としています。

住民の皆様が、自ら課題を解決し、自己を高めていくために、学習活動の場を提供してきました。

今年度の事業について報告します。

生涯学習公演会

松崎小学校PTA教養部との共催で、生涯学習公演会「ピエロのスーパーサーカス」を開催しました。当日の入場者は250人を超え、会場全体が参加型のさまざまなパフォーマンスを楽しみました。



ピエロのスーパーサーカス (11月実施)

生涯学習教室

生涯学習教室は、初心者でも気軽に参加でき、楽しんで活動することができました。



デジカメ写真教室(8月～12月全5回実施)
講師：石田博之さん



親子(子ども)料理教室(8月実施)
講師：松崎町健康づくり食生活推進協議会委員

この他に、自主的な講座運営を教育委員会がお手伝いする「生涯学習塾」が1講座開設されました。



牛乳・乳製品の摂取を高めるための食生活料理教室(2月実施)
講師：松崎町健康づくり食生活推進協議会委員



高血圧予防教室(2月実施)
講師：松崎町健康づくり食生活推進協議会委員

教養講座

今年度の教養講座は、「歴史」をテーマに、地域の歴史から日本史や世界史へのつながりを見つめる『賀茂の近代史』と依田勉三翁帯広開拓130周年『ふるさと十勝と松崎』の2講座を開催しました。



賀茂の近代史全3回(10月実施)
講師：桜井祥行さん



ふるさと十勝と松崎 (11月実施)
講師：橋本敬之さん

生涯学習講演会

3月3日(日)には、松崎町体育協会との共催で、早稲田大学駅伝監督・渡辺康幸さんを講師に招き「自ら育つ力」と題し、講演会を開催します。

ジュニアボランティアクラブ

町内外の施設や行事で小・中・高校生がボランティア活動に取り組みました。
今年度は88人が登録し、さまざまな活動に参加しました。年間20時間以上活動した生徒は23人、75時間活動した生徒もいました。



海岸清掃ボランティア

【問合せ】

教育委員会 (42) 3971

岩科財産区議会の議員と 農業委員会の委員が決まりました

〈岩科財産区議会〉

任期満了に伴う岩科財産区議会議員選挙が、2月5日(火)に告示され、無投票で新しい議員が決まりました。

○財産区とは

町とは別の独立した法人格を持つ地方公共団体です。財産区の設置目的は、財産区住民の福祉の増進であり、財産の管理および処分等について審議されます。

〈農業委員会〉

任期満了に伴う松崎町農業委員会委員選挙が、2月19日(火)に告示され、無投票で新しい委員が決まりました。

新委員の皆様には、農地の有効利用の調整や耕作放棄地対策等、町の農業振興のためにご尽力いただくこととなります。

○農業委員会の役割と

農地法の手続き

農業委員会では、地域における優良農地の確保を目的として、農地の売買や貸借等の権利移転申請、農地を宅地等の他の目的に変更する転用申請等について、農地法等の法律に基づいて判断しています。

農地法の手続きが必要となる場合は、農業委員または産業建設課までご相談ください。

【問合せ】

産業建設課 (42) 3965

○岩科財産区議会議員

氏名	地区
田口公夫	八木山
山本太美雄	峰
佐藤洋司	野田
菊池茂	金沢
山地秋雄	道部
高橋明	岩地
高橋秀康	石部
鈴木安一郎	雲見

任期：平成25年2月26日～平成29年2月25日

○農業委員会委員

氏名	担当地区
岡村光宏	松崎・道部
稲葉洋和	江奈
成川静雄	桜田
関榮次	伏倉・宮内
新田博之	池代・小杉原・明伏
山本勝俊	大沢・峰輪・船田
山本総一	門野・南郷・吉田
土屋かず枝	建久寺・那賀
佐藤美晃	山口・指川・金沢
菊池幸雄	松尾・中村・野田
渡辺文彦	峰・八木山
高橋治	岩地・石部・雲見

任期：平成25年3月22日～平成28年3月21日

軽自動車税の手続きは 3月末までに

軽自動車税は、4月1日現在で、原動機付自転車・軽自動車・小型特殊自動車・二輪の小型自動車を所有している方に税金が課税されます。

廃車や名義変更等の手続きが4月1日を過ぎてしまうと、1年分の税金を納めていただくこととなります。

手続きが済んでいないと、毎年課税されるため、トラブルの元になります。手続きは3月末まで(今年は3月31日が日曜日のため29日(金)まで)に済ませてください。

〈こんなときは手続きを〉

所有者や所有者の住所が変更になった場合は、申告が必要で、上表の各届出先で必要書類等を確認し、手続きをしてください。

○所有者が町外へ引っ越しをする場合は、住所変更等の手続き

○所有者が死亡した場合は、名義変更・廃車等の手続きに盗難届を出して、廃車の手続き(盗難届を出しただけでは課税され続けます)

○解体処理業者等に解体を依頼した場合は、ナンバープレートや車検証等を回収し、廃車の手続き

○知人等から譲ってもらった、知人等へ譲った場合は、名義変更の手続き

○松崎町のナンバープレートが破損・紛失した場合は、窓口税務課で、現在のナンバーを抹消し、新しいナンバーを取得(故意に破損した場合は、弁償金がかかります)

【問合せ】

窓口税務課 (42) 3968

軽自動車税の納期限は5月末に変更になります。

軽自動車の種類	届出場所・問合せ先
・125cc以下の原動機付自転車 ・小型特殊自動車 ・50cc以下のミニカー	窓口税務課 ☎(42)3968
・125cc～250cc以下の軽二輪車	静岡県軽自動車販売店協会 ☎055(988)4022
・軽自動車(軽三輪・軽四輪)	軽自動車検査協会沼津支所 ☎055(988)3847
・250ccを越える二輪の小型自動車	沼津自動車検査登録事務所 ☎050(5540)2051

窓口税務課 (42) 3968

4月1日(月)から、松崎警察署が「下田警察署松崎分庁舎」としてスタートします

松崎警察署は、災害対策の強化と重大事件・事故への対応強化を目的として、4月1日(月)から下田警察署に統合され「下田警察署松崎分庁舎」として再出発します。

今回の統合により、松崎分庁舎には、責任者である担当次長を配置する他、これまで以上に、現場で活動する実働の警察官が配置されることとなります。

また、事件・事故等が発生した際には、松崎分庁舎の勤務員の他、下田警察署からも応援に駆け付ける等、対応強化が図られます。

なお、松崎分庁舎では、これまでの各課の業務(警察行政サービス)についても、ごく一部を除いて、原則、継続されます。

詳しくは、静岡県警ホームページ(松崎警察署のホームページ)等をご覧ください。
分庁舎化にあたり、3月22日(金)、午後1時30分から環境センター文化ホールにお

て「松崎分庁舎安全・安心出発式」を行います。ぜひご来場ください。

〔松崎分庁舎の取り扱い業務〕

○事件・事故の届出

○遺失・拾得届出

○各種相談受理

○運転免許の更新(優良運転者および高齢運転者の更新の際、即日交付はできません。即日交付を希望する場合は、下田警察署もしくは最寄りの警察署、各運転免許センターまでお願いします。松崎分庁舎で交付を受ける場合は、おむね2、3週間かかります。)

○車庫証明事務、道路使用許可等受付

○生活安全関係の許認可受付(銃砲の新規所持許可申請および火薬類運搬届出については、受け付けができません。下田警察署までお願いします。)

【問合せ】

松崎警察署 (42) 0110

100歳のお祝い

稲葉 さださん
(大正2年1月28日生)

1月29日(火)、齋藤町長は、稲葉さんの入所している介護老人保健施設「しおさい」を訪問し、お祝い金と記念品を贈呈して、100歳の誕生日をお祝いしました。

齋藤町長からお祝いの言葉を受けた稲葉さんは「本当にうれしい。ありがとうございます。」と応えました。



100歳のお祝いを受ける稲葉さん

【問合せ】

健康福祉課 (42) 3966

松崎文芸

俳句

海苔の香に幸せ貫ふ朝飼かな
咳込めば吾を見守る家の者
小買物余寒の路を小走りに
終の地に新種の桜植えにけり
着ぶくれて長生きするため歩く
海苔を掻く杖を大事に岩を飛ぶ
梅咲くや一枝を胸に挿しもして
悔い多し残る寒さの終獵日
立春の雲ゆつくりと流れけり
からからとあられ炒る夜の余寒かな
はんば海苔好みし亡夫に供へけり
眉ほどの明月青く余寒かな
花団子揺れる明治の太柱
一枚を重ね出掛ける余寒かな
遠来の友待つ部屋の火鉢かな
探梅やまだまだ固き枝の先
春の風邪寝ても起きても持て余し

稲葉文字
山本武男
小林一男
佐藤享
細矢金治
石田宏
小林忠男
山本一詞
依田ふじ枝
稲葉菊恵
土屋規矩子
吉岡うた子
齋藤みつ子
鈴木すみ江
清水高子
夏目和子
松田美智子

津波避難訓練の実施について

- 【日時】 3月10日(日) 午前10時～
- 【対象】 津波による浸水が想定される地区
- 【その他】 午前10時にサイレンを鳴らし、訓練放送を行います。
- 【問合せ】 総務課 (42)3963

マックスバリュ東海㈱と災害協定締結

1月31日(木)、町は、マックスバリュ東海㈱と、災害時における食料品や生活必需品の物資供給支援に関する協定を結びました。
【問合せ】 総務課 (42)3963

～まちのできごと～

1月中旬～
冬の風物詩「川のり」採り最盛期



那賀川・岩科川河口で、川のり採りが最盛期を迎えました。干潮時には、多くの方が、川底の石についた川のりを手際よく採っていました。

2/11
鬼射まつり



池代地区にある日吉神社では、1年の厄除けや家内安全等を願う伝統行事「鬼射まつり」が行われました。早朝に池代川で身を清めた後、弓太郎が約20m離れた的を目標けて弓を射ました。

1/30
松崎町建設業組合と災害協定締結



町は、松崎町建設業組合と、地震・風水害等により町の管理する道路や河川等に被害が発生した場合の応急対策業務の実施に関する協定を結びました。

2/20
世界一の富士山景観へのチャレンジ協定締結



町は、世界でいちばん富士山がきれいに見える町実行委員会、三浦同志会、三浦地区の区長、下田土木事務所と国道136号線（松崎～雲見区間）の景観保全についての協定を結びました。

まちづくり委員会

松崎町は、昭和53年から、「花とロマンのふる里づくり」をテーマに、まちづくりを行ってきました。

さらに、私が町長に就任してからは、「平成の花とロマンのふる里づくり」として、「全町まるごとふるさと自然体験学校」によるグリーンツーリズムの推進等、町内の豊かな自然環境、景観、文化、産業等の地域資源を活かした施策を推進しています。

こうした取り組みを「外部の目」により、評価していたため、「日本で最も美しい村」連合への加盟を目指しています。しかしながら、連合へ加盟しただけでは、松崎町は何も変わりません。「美しい村」という旗を掲げると同時に住民の皆様が主体となったまちづくり活動をスタートさせることが、松崎町の魅力を継続させていく最良な手段だと

と思います。

こうした考えの下、一緒に汗をかいていただけの方のご協力を求めるため、町内回覧により、まちづくり委員の募集をしたところ、28歳から76歳までの幅広い年代の31人の「町を良くするため、何かしたい。」と考える方から応募がありました。

先日、ご応募をいただいた方が集まり、第1回準備会が開催されました。今後、講演等を通じ、まちづくりに対する共通認識を深め、委員会を発足させる予定です。

まちづくりの主役は、町民の皆様です。今後皆様様の意見を伺う機会を増やしていきたいと考えていますので、積極的に参加していただき、一緒に町を盛り上げていきましょう。

町長室からこんにちは ③9

松崎町長
齋藤 文彦

町の人口と世帯

(平成25年1月31日現在)
()内は前月比

総人口	7,625人	(-19人)
男	3,622人	(-13人)
女	4,003人	(-6人)
世帯数	3,070戸	(-7戸)
転入	11人	転出 15人
出生	3人	死亡 20人

町の交通事故

平成25年1月発生分
()内は前年同月比

人身事故	4件	(+3)
物損事故	11件	(+3)
死者	0人	(±0)
傷者	7人	(+6)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
宮内	渡邊敏郎	76	智
船田	船津吉花代	93	公雄
那賀	土屋泰一	83	すなを
山口	稲葉昭五	81	山本ゆり子
中村	白井てる子	90	文義
池代	青木千年	84	正人
江奈3	関よし子	80	真行
東区	望月睦子	69	卓
道部	山本かね子	84	睦雄
東区	佐藤照夫	79	健二
江奈2	石田倫男	81	禮子
江奈2	土屋静男	104	秀一郎
道部	高木國義	86	淳
伏倉	藤池一子	88	林
宮内	奥村數男	87	大橋道弘

(1月届出分) 戸籍だより

おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
江奈1	蒼 琉	男	鈴木昭一
八木山	沙 羅	女	岡部伸次
伏倉	優 那	女	依田卓
峰輪	翔七太	男	依田光貴 (11月届出分)

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

ストップ！悪質商法被害

「あなたも賢い消費者に④」

「宣伝とはわからない宣伝もあることに注意して！」

「ステルスマーケティング」という言葉を知ったことがありますか。

略称で「ステマ」と呼ばれているもので、消費者に宣伝とは気付かれない方法によって宣伝をする手法です。

近年では、いわゆる口コミサイトでのやらせや、芸能人ブログのペニーオークションの落札記事等が話題になりました。

このような手法は、景品表示法という法律の「不当表示」に該当する可能性がある旨が消費者庁から示されていますが、消費者にとっては、そもそも宣伝であるか否かも分からないことが非常に問題です。

インターネットによる取引は、インターネット上の評判が大きな影響を与えていると思えます。

しかし、このような宣伝方法があることも注意しながらインターネット取引を行う必要があるでしょう。



【問合せ】 企画観光課(42) 3964
(文と絵) 司法書士 山田 茂樹

姉妹都市通信

帯広市から

「帯広と自転車とスパイクタイヤ」

帯広市は広大な十勝平野の中央に位置し、晴れ渡った大きな青空、どこまでも続く長い道等、北海道の雄大さを象徴する景色が広がっています。

その帯広で近年、自転車の利用者が増えてきているように感じます。

平坦な地形で日照時間が長い帯広は、自転車の利用にとっても適していて、健康ブームや環境問題への意識向上等と相まって、趣味はもとより通勤や通学に利用する人が増えているようです。

環境モデル都市である帯広市としても、自転車を二酸化炭素を排出しない環境に優しい乗り物として捉えて、サイクリングフェスタの開催やサイクリングコースの設置等、環境施策の一つとして自転車の利用促進を進めています。改めて見直されている自転車ですが、その利用には北海

道ならではの避けて通れない、冬の雪と水の問題があります。

冬は道路が圧雪アイスバーン状態で滑るため、これまで冬道で自転車を利用する方はほとんどいませんでした。

ところが最近、自転車を冬でも利用する方が出てきました。専用のスパイクタイヤを装着した自転車で、凍った道を物ともしないで走ります。

先人たちが厳しい自然環境の中で開拓を進め、寒さの怖さやつらさを乗り越えて今の帯広・十勝を築き上げてきたことを思うと、厳冬の自転車の利用も先祖代々受け継いできた帯広の文化なのかもしれません。

しかし、冬道の運転は危険がいっぱいですので、交通安全には十分注意してもらいたいものです。



釘を打ち込んだスパイクタイヤ